

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【公表番号】特表 2009-512271 (P2009-512271A)
 【公表日】平成 21 年 3 月 19 日 (2009.3.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-011
 【出願番号】特願 2008-534454 (P2008-534454)
 【国際特許分類】

H 0 3 M 7/30 (2006.01)

G 1 0 L 19/00 (2006.01)

G 1 0 L 19/02 (2006.01)

【F I】

H 0 3 M 7/30 Z

G 1 0 L 19/00 2 1 3

G 1 0 L 19/02 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 20 日 (2009.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のデータに対応する一つのグループ基準値及び前記グループ基準値に対応する差分値を獲得し、

前記グループ基準値及び前記差分値を用いて前記データを獲得する、信号処理方法であって、

前記データは、データグルーピング及び前記データグルーピングに対する内部グルーピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理方法。

【請求項 2】

前記内部グルーピングに含まれる前記データの個数は、前記データグルーピングに含まれる前記データの個数よりも少ないことを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 3】

前記データは、パラメータであることを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 4】

前記内部グルーピングは、前記データグルーピングされるデータ全体に対して行われることを特徴とする、請求項 3 に記載の信号処理方法。

【請求項 5】

前記内部グルーピングは、パラメータの帯域別に行われることを特徴とする、請求項 4 に記載の信号処理方法。

【請求項 6】

前記内部グルーピングは、前記データグルーピングされるデータの一部に対して行われることを特徴とする、請求項 3 に記載の信号処理方法。

【請求項 7】

前記内部グルーピングは、前記データグルーピングされるデータのチャンネル別に行われることを特徴とする、請求項 3 に記載の信号処理方法。

【請求項 8】

前記グループ基準値は、パイロット基準値であることを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 9】

前記グループ基準値は、差分基準値であることを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 10】

前記グループ基準値はパイロット基準値に対応し、

前記パイロット基準値は、グループ別に定められることを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 11】

前記データグルーピング及び前記内部グルーピングは、周波数ドメイン上のデータに対して行われることを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 12】

前記周波数ドメインは、サンプルドメイン、サブバンドドメイン、ハイブリッドドメイン、パラメータバンドドメイン、データバンドドメイン及びチャンネルドメインのうちいずれか一つであることを特徴とする、請求項 11 に記載の信号処理方法。

【請求項 13】

前記データの獲得は、前記データグルーピング及び前記内部グルーピングのうち少なくとも一つに関するグルーピング情報を用いて行われることを特徴とする、請求項 1 に記載の信号処理方法。

【請求項 14】

前記グルーピング情報は、各グループの位置、各グループの個数、前記グループ基準値のグループ別適用の有無、前記グループ基準値の個数、前記グループ基準値のコーデック方式及び前記グループ基準値の獲得の有無のうち少なくとも一つを含むことを特徴とする、請求項 13 に記載の信号処理方法。

【請求項 15】

複数個のデータに対応するグループ基準値及び前記データを用いて差分値を生成し、

前記生成された差分値を転送する、信号処理方法であって、

前記データは、データグルーピング及び前記データグルーピングに対する内部グルーピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理方法。

【請求項 16】

複数個のデータに対応するグループ基準値及び前記データを用いて差分値を生成する値生成部と、

前記生成された差分値を転送する出力部と、

を含み、

前記データは、データグルーピング及び前記データグルーピングに対する内部グルーピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理装置。

【請求項 17】

複数個のデータに対応する一つのグループ基準値及び前記グループ基準値に対応する差分値を獲得する値獲得部と、

前記グループ基準値及び前記差分値を用いて前記データを獲得するデータ獲得部と、

を有し、

前記データは、データグルーピング及び前記データグルーピングに対する内部グルーピングを通じて一つのグループに含まれることを特徴とする、信号処理装置。

【請求項 18】

前記内部グルーピングに含まれる前記データの個数は、前記データグルーピングに含まれる前記データの個数よりも少ないことを特徴とする、請求項 17 に記載の信号処理装置

。

【請求項 19】

前記データは、パラメータであることを特徴とする、請求項 17 に記載の信号処理装置

°

【請求項 20】

前記内部グルーピングは、前記データグルーピングされるデータ全体に対して行われることを特徴とする、請求項 19 に記載の信号処理装置。

【請求項 21】

前記内部グルーピングは、パラメータの帯域別に行われることを特徴とする、請求項 19 に記載の信号処理装置。

【請求項 22】

前記内部グルーピングは、前記データグルーピングされるデータの一部に対して行われることを特徴とする、請求項 19 に記載の信号処理装置。

【請求項 23】

前記内部グルーピングは、前記データグルーピングされるデータのチャンネル別に行われることを特徴とする、請求項 19 に記載の信号処理装置。

【請求項 24】

前記グループ基準値は、パイロット基準値であることを特徴とする、請求項 17 に記載の信号処理装置。

【請求項 25】

前記グループ基準値は、差分基準値であることを特徴とする、請求項 17 に記載の信号処理装置。

【請求項 26】

前記グループ基準値はパイロット基準値に対応し、
前記パイロット基準値は、グループ別に定められることを特徴とする、請求項 17 に記載の信号処理装置。

【請求項 27】

前記データグルーピング及び前記内部グルーピングは、周波数ドメイン上のデータに対して行われることを特徴とする、請求項 17 に記載の信号処理装置。

【請求項 28】

前記周波数ドメインは、サンプリングドメイン、サブバンドドメイン、ハイブリッドドメイン、パラメータバンドドメイン、データバンドドメイン及びチャンネルドメインのうちいずれか一つであることを特徴とする、請求項 27 に記載の信号処理装置。

【請求項 29】

前記データ獲得部は、前記データグルーピング及び前記内部グルーピングのうち少なくとも一つに関するグルーピング情報を用いて前記データを獲得することを特徴とする、請求項 17 に記載の信号処理装置。

【請求項 30】

前記グルーピング情報は、各グループの位置、各グループの個数、前記グループ基準値のグループ別適用の有無、前記グループ基準値の個数、前記グループ基準値のコーデック方式及び前記グループ基準値の獲得の有無のうち少なくとも一つを含むことを特徴とする、請求項 29 に記載の信号処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の目的を達成するための、本発明の信号処理方法は、複数のデータの一つ一つのグループ基準値及び前記グループ基準値に対応する差分値を獲得し、前記グループ基準値及び前記差分値を用いて前記データを獲得する。データグルーピング及び前記データグルーピングに対する内部グルーピングを通じて一つのグループに含まれる。ここで、前記内部グルーピングに含まれる前記データの個数は、前記データグルーピングに含まれる

前記データの個数よりも少ない。前記データはパラメータに該当する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記内部グルーピングは、前記データグルーピングされるデータ全体に対して行われる。前記内部グルーピングは、パラメータの帯域別に行われる。また、前記内部グルーピングは、前記データグルーピングされるデータの一部に対して実行される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、前記内部グルーピングは、前記データグルーピングされるデータのチャンネル別に実行される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、前記グループ基準値は、パイロット基準値に対応し、前記パイロット基準値は、グループ別に定められる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、前記周波数ドメインは、サンプルドメイン、サブバンドドメイン、ハイブリッドドメイン、パラメータバンドドメイン、データバンドドメイン及びチャンネルドメインのうちいずれか一つとなることができる。また、前記データの獲得は、前記データグルーピング及び前記内部グルーピングのうち少なくとも一つに関するグルーピング情報を用いて行われる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記の目的を達成するための、本発明の信号処理装置は、複数のデータの対応する一つのグループ基準値及び前記グループ基準値に対応する差分値を獲得する値獲得部と、前記グループ基準値及び前記差分値を用いて前記データを獲得するデータ獲得部と、を含む。前記データは、データグルーピング及び前記データグルーピングに対する内部グルーピングを通じて一つのグループに含まれる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

上記の目的を達成するための、本発明の他の信号処理方法は、複数個のデータに対応するグループ基準値及び前記データを用いて差分値を生成し、前記生成された差分値を転送する。データグルーピング及び前記データグルーピングに対する内部グルーピングを通じて一つのグループに含まれる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

上記の目的を達成するための、本発明の他の信号処理装置は、複数個のデータに対応するグループ基準値及び前記データを用いて差分値を生成する値生成部と、前記生成された差分値を転送する出力部と、を含む。データグルーピング及び前記データグルーピングに対する内部グルーピングを通じて一つのグループに含まれる。